

おんぼう 穩豊

No 3 2017

- 旧春日村に移住して12年
田口壽子さん
- 好きなことをするために
永田弘行さん・麻紗子さん
- 主婦目線で始めた活動
安田裕美子さん

揖斐川流域の穏やかで豊かなヒト・モノ・コトがわかる情報誌



旧春日村に移住して12年。
「麻処さあさ」を営む田口壽子さん。

おんぼう 穩豊な人々。

旧春日村美東に移住されて12年。壽子さんは、麻炭や草木染麻手ぬぐいや和物仕立てなど、麻にこだわったモノづくりをしている「麻処さあさ」を営んでいます。

夫の龍治さんは、東京在住の時、地下資源の代替資源になるという「麻」のすばらしさに気付き、麻栽培ができる地を探して全国を旅する中で、麻の文化や技術、知恵が残る春日にたどり着き、先に移住していた壽子さんとの出会い、移住を決意。この地域にきた初めての移住者で、最初は「宇宙人がきた!」と思われたとか。

移住する前はそれぞれ都市に暮らし、近所付き合いはもちろんありませんでしたが、移住をき



ピープルズ コミュニティ

安八郡輪之内町
<http://www.ip.mirai.ne.jp/~peoples/>

ピープルズ コミュニティの思い

資源循環型社会の形成を図るため、一般家庭から排出される資源化出来る廃棄物のリサイクル事業、環境教育事業、情報通信環境整備事業をおこなうこととしています。そしてこれからも、人が輝き地域が輝く社会の実現に、みんなが少しばかり寄与できればと考えています。

おんぼうじん 穩豊人

神田浩史の一言コラム

農山漁村へのとけ込み方

農山漁村は保守的でつつし難い。何をやっても変革は大変。そんな印象を持っていませんか？ おっかなびっくりで、外から恐ろしく覗き込んでみると、そのような姿に見えてしまいます。けど、決してそうとは限りません。きちんと地域のルールを知って、踏み出してみると、違った側面が見えてきます。

揖斐川流域の農山漁村にも、そういった地域固有のあり方を理解しながら、地域に新しい風を吹き込んでいる人たちが点在しています。



神田浩史
NPO法人泉京・垂井副代表理事。流域単位の循環型社会の再構築を軸にした「穩豊」社会の提唱者。

ます。中には地元で生まれ育って、郷土愛に溢れた事業を展開する人も。あるいは、他所から揖斐川流域の魅力に惹き込まれて、新しい事業を起こす人も。地域に根を張りながら、新しい事業を始めた人たちが、意識的に連携を進め始めているのも、揖斐川流域の特徴です。新しいことを始めると、ともしれば孤立しがちなところを、緩やかなネットワークを形成して、仲間づくりを広げてきています。

穩豊(おんぼう) No 3

編集……河合良太、神田浩史、田中耕平
発行……NPO法人 泉京・垂井
〒503-2124 岐阜県不破郡垂井町宮代1794-1
Tel 0584-23-3010
URL <http://sento-tarui.blogspot.jp>
Email info@sento-tarui.org
© 2016年度JT NPO助成事業

編集後記

安田さんはいつもお土産をいっぱいくれます。おむすび、クッキー、野菜。食べきれないと思うほどもらって、べろりと食べきれずしてしまふ。僕の体の数%は輪之内の恵み(かわい)

大募集です!

「穩豊」編集部では、編集ボランティアを大募集しています。揖斐川流域の穏やかで豊かなヒト・モノ・コトを紹介していくためには、記事、写真等あなたの協力がぜひとも必要です。ご連絡をお待ちしています!